

「*medicina*」第32巻 総目次

1995年 第1号～第13号

(数字は頁数, () は号数を示す.)
(12号は増刊号につき不掲載.)

〈今月の主題〉

消化器疾患の画像診断

〈基本的な画像診断—適応と限界〉

腹部単純 X 線写真	水野 富一	6(1)
腹部エコー	久保田光博・他	11(1)
腹部 CT	黒崎 喜久	17(1)
腹部 MR	市川 智章・他	20(1)
上部消化管造影	七海 暁男	27(1)
小腸二重造影法	小林 茂雄	31(1)
大腸造影	松川 正明・他	38(1)
腹部血管造影	磯部 義憲	42(1)
上部消化管内視鏡検査	白井 孝之	51(1)
大腸内視鏡検査	坪水 義夫・他	55(1)
内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP)		
.....土岐 文武・他	60(1)	
RI シンチグラフィ	越智 宏暢・他	66(1)

〈画像診断の応用—現況と将来〉

カラードブラ腹部エコー	久 直史	71(1)
腹部アンジオエコー	斎藤 明子	76(1)
超高速 CT	相澤 信行	82(1)
MR アンジオグラフィ	湯浅 祐二	87(1)
PET	伊藤 健吾・他	94(1)

超音波内視鏡検査

—上部消化管	芳野 純治・他	100(1)
—大腸	趙 栄済・他	106(1)
—十二指腸/膵/胆道	松元 淳・他	114(1)
電子内視鏡の画像解析	勝 健一	120(1)

〈微小病変の画像診断—選択と読み方〉

食道—特に微小癌の発見を中心に		
.....吉田 操・他	125(1)	
胃—特に微小胃癌の発見を中心に		
.....杉野 吉則・他	134(1)	
小腸	今井 裕・他	139(1)
大腸	飯田 三雄・他	144(1)
肝臓	平井 賢治・他	150(1)
膵臓	税所 宏光・他	154(1)

胆管/胆嚢	藤本 正夫・他	158(1)
今月の主題・理解のための28題		163(1)
解 答		208(1)

小児疾患とキャリアオーバー診療

〈Editorial〉キャリアオーバー診療にお

ける問題点	桃井真里子	226(2)
-------	-------	--------

〈内科医がみる小児救急外来〉

発熱	山中 龍宏	229(2)
意識障害	栗屋 豊	232(2)
腹痛(急性腹症)	堀野 清孝	234(2)
嘔吐, 下痢, 下血	小林 昭夫	237(2)
発疹性疾患	中村 明	240(2)
気管支喘息発作時の処置	岩田 力	243(2)
急性呼吸障害	武内 可尚	246(2)
頭痛	小宮 和彦	250(2)
けいれん	椎原 弘章	253(2)
誤嚥・誤飲—薬物, 中毒など	荒川 洋一	256(2)

〈思春期の患者をどうみるか〉

思春期患者をどうみるか	弘岡 順子	260(2)
思春期特有の症状にどう対応するか		
.....森 崇	262(2)	
心雑音	阿波 彰一	266(2)
肥満	大和田 操	270(2)
高血圧	内山 聖	272(2)
高脂血症—高コレステロール血症を中心に		
.....児玉 浩子	274(2)	

思春期スポーツ障害

—いわゆる“膝の成長痛”について		
.....平岡 久忠・他	278(2)	
神経性食欲不振症	中根 晃	280(2)
思春期患者のメンタルヘルスケア		
.....宮本 信也	283(2)	

心身症—自律神経症状を訴える患者をみる		
.....星加 明德・他	286(2)	

〈小児科から内科へのキャリアオーバー診療〉

先天性心疾患	小池 一行	289(2)
--------	-------	--------

川崎病性冠動脈瘤 ……………白石裕比湖	292(2)	自己免疫疾患のための検査 …秋月 正史	487(3)
心筋症のフォローアップ ……原田 研介	296(2)	リンパ球機能のアセスメント	
てんかん ……………小林 繁一	298(2)	……………小谷 宏行・他	491(3)
慢性腎疾患のフォローアップ 五十嵐 隆	302(2)	<免疫疾患のメカニズム>	
気管支喘息 ……………勝呂 宏	306(2)	アレルギー性鼻炎 ……………大西 正樹	495(3)
悪性疾患のフォローアップ …大平 睦郎	310(2)	気管支喘息 ……………井上 洋西	498(3)
血友病 ……………飯塚 敦夫	312(2)	過敏性肺臓炎 ……………倉知 大・他	501(3)
HIV 感染症……………山田 兼雄	315(2)	免疫異常と糸球体疾患 ……大井 洋之	504(3)
免疫不全症候群 ……………矢田 純一	318(2)	胸腺腫にみられる疾患 …安部 明弘・他	509(3)
肝炎ウイルスキャリア …田中 雄二・他	320(2)	自己免疫性内分泌疾患 ……森本 勲夫	512(3)
先天性胆道閉鎖症術後 …小林 昌和・他	324(2)	炎症性腸疾患における免疫異常-IL-7 の	
糖尿病 ……………内潟 安子	328(2)	役割 ……………渡辺 守・他	515(3)
膠原病 ……………田中 信介	331(2)	自己免疫性肝炎 ……………阿部 和裕・他	521(3)
<小児診療の注意点>		抗リン脂質抗体症候群 ……鎗木 淳一	524(3)
小児の検査値のみかた …澤 文博・他	335(2)	高齢者と免疫機能 ……………岸本 進	527(3)
小児へのくすりの使い方 ……藤田 昌宏	338(2)	HIV 感染と免疫不全 ……栗村 敬	530(3)
予防接種 ……………木村三生夫	340(2)	免疫不全と日和見感染症 ……西谷 肇	534(3)
今月の主題・理解のための 34 題 ……………	344(2)	γ-グロブリンの使用と感染症 青木 眞	539(3)
解 答 ……………	407(2)	<免疫疾患のトピックス>	
免疫学の理解とその臨床		免疫不全の遺伝子治療 ……宮崎 澄雄	542(3)
<免疫学の基礎知識>		臓器移植と免疫反応 ……森川 雅之・他	545(3)
免疫学進展の歴史と現状 香山 雅子・他	422(3)	サイトカインと癌治療 …小林 正伸・他	551(3)
免疫学の現在と未来 ……………多田隈卓史	429(3)	シクロスポリンと炎症性腸疾患	
免疫学の細胞学と分子生物学の基礎		……………上野 文昭	554(3)
……………矢田 純一	432(3)	今月の主題・理解のための 33 題 ……………	557(3)
<免疫機能の解説>		解 答 ……………	618(3)
T リンパ球の役割 ……………中村 和史	437(3)	脂質代謝と動脈硬化	
B リンパ球と免疫グロブリン 佐伯 行彦	441(3)	<Editorial> 動脈硬化症における高脂血症	
ナチュラルキラー(NK)細胞		治療の意義 ……………山田 信博	629(4)
……………鳥越 俊彦・他	444(3)	<役に立つリポ蛋白代謝の基礎知識>	
好中球の免疫における働き		リポ蛋白の種類とその代謝 …横出 正之	632(4)
……………今 信一郎・他	448(3)	アポ蛋白の種類とその機能 …木下 誠	635(4)
好酸球と免疫 ……………香坂 隆夫・他	452(3)	リポ蛋白代謝に関与する酵素と受容体	
肥満細胞とメディエーター …三田 晴久	456(3)	……………井上 郁夫・他	641(4)
単球-マクロファージの機能		最近の分子生物学的アプローチ	
……………楊河 宏章・他	460(3)	……………益崎 裕章・他	644(4)
サイトカインと免疫調節 ……中野 昌康	464(3)	<動脈硬化症の成因理解のための脂質代謝>	
補体と免疫 ……………酒井 好古	469(3)	細胞内脂質蓄積機構 ……袴田 秀樹・他	648(4)
<免疫疾患へのアプローチ>		高コレステロール血症と動脈硬化	
主要組織適合性と免疫疾患の感受性		……………梶波 康二・他	651(4)
……………伊藤 直人・他	474(3)	低 HDL コレステロール血症と動脈硬化	
アレルギー性疾患の成立 大原 守弘・他	477(3)	……………山下 静也	655(4)
アレルギー性疾患のための検査		高トリグリセリド血症と動脈硬化	
……………灰田美知子	480(3)	……………本間 康彦	661(4)
自己免疫疾患の成立 ……………富田 康之	484(3)	酸化 LDL と粥状動脈硬化	

.....久米 典昭・他	664(4)
Lp(a)と動脈硬化	大久保 実 671(4)
内臓肥満と動脈硬化	小林 一史・他 674(4)
〈日本人の動脈硬化症と高脂血症の現状〉	
高脂血症の実態	寺本 民生 679(4)
虚血性心疾患の疫学と危険因子	
.....参木 保至・他	682(4)
脳血管障害の疫学と危険因子	
.....加藤 功・他	685(4)
末梢血管障害の疫学と危険因子	
.....日高 秀樹	688(4)
〈高脂血症の診断〉	
高脂血症の理学的所見と検査値の読み方	
.....ス波真理子・他	692(4)
原発性高脂血症の診断と病因	
.....山口 一郎・他	698(4)
糖尿病における高脂血症の特徴	
.....及川 真一・他	701(4)
糖尿病以外の二次性高脂血症の診断と	
病因	澤田 哲伸・他 706(4)
Syndrome X の診断と病因	
.....河野 幹彦・他	709(4)
〈高脂血症の治療〉	
高脂血症の治療戦略とリスクマネージ	
メント	中村 治雄 713(4)
食事療法・運動療法の実際とライフ	
スタイル	板倉 弘重・他 716(4)
高コレステロール血症の治療の実際	
.....中井 継彦	721(4)
高トリグリセリド血症の治療の実際	
.....衛藤 雅昭	727(4)
〈高脂血症治療の諸問題と新しい展開〉	
低 HDL コレステロール血症の治療	
.....芳野 原・他	731(4)
高 Lp(a)血症の治療	田村 憲・他 736(4)
抗酸化剤の意義とその実際の適応	
.....鹿住 敏・他	739(4)
LDL アフェレーシスの適応と実際	
.....小泉 順二・他	743(4)
小児における高脂血症の治療の実際と	
注意点	村田 光範 746(4)
老年者の高脂血症の治療の実際と注意点	
.....神崎 恒一・他	750(4)
新しい高脂血症治療薬の開発 中谷 矩章	753(4)
動脈硬化症の遺伝子治療	石橋 俊 756(4)

〈合併症のある高脂血症の治療〉	
糖尿病における高脂血症の治療の実際と	
注意点	村上 透 760(4)
高血圧における高脂血症の治療の実際と	
注意点	松永 彰・他 763(4)
腎疾患における高脂血症の治療の実際と	
注意点	湯川 進・他 766(4)
〈高脂血症治療の評価〉	
高コレステロール血症—一次予防および	
二次予防の成績	阪本 琢也・他 770(4)
高トリグリセリド血症—一次予防および	
二次予防の成績	田中 明 773(4)
今月の主題・理解のための 37 題	777(4)
解 答	799(4)
不整脈診療のための心電図の見方	
〈Editorial〉不整脈診療の基本 小川 聡	854(5)
〈安静時標準 12 誘導心電図からみた不整脈診断〉	
P 波形・PQ 偏位の見方	三田村秀雄 859(5)
PQ 間隔と房室ブロック	中里 祐二 862(5)
QRS 波形と軸偏位の見方.....久保田功・他	866(5)
QT 間隔の計測法と QT 延長症候群の	
診断	須山 和弘・他 868(5)
イブシロン波と心室頻拍 大西 哲・他	872(5)
右側胸部誘導の ST 上昇と心室細動	
.....新 博次	875(5)
Osborn 波と心室細動	宇井 進 878(5)
デルタ波による Kent 束局在診断—WPW 症候群	
への診断のアプローチ 畔上 幸司・他	881(5)
〈その他の不整脈検査のポイント〉	
ホルター心電図	近松 均・他 885(5)
運動負荷心電図・加算平均心電図・電気	
生理検査	中沢 潔・他 889(5)
〈不整脈診断に役立つ電気生理学の知識〉	
心臓自動能の電気生理	堀江 稔 896(5)
Return cycle とは	西村 昌雄・他 899(5)
心房早期刺激による洞房伝導時間の評価	
.....白井 徹郎	902(5)
Overdrive suppression とは 鈴木 文男	905(5)
回帰収縮・逆行性心房興奮とは	
.....円城寺由久・他	909(5)
不顕伝導とは	飯沼 宏之 912(5)
不顕性期外収縮の心電図所見	
.....西崎 光弘・他	915(5)
心室内変行伝導と心室期外収縮の鑑別	
.....村川 裕二	918(5)

Cardiac memory とは …平井 真理・他	921(5)
〈不整脈からみた基礎心疾患の病態の理解〉	
刺激伝導系の冠動脈支配 八木 洋・他	924(5)
洞機能不全, 心房性不整脈と責任冠動脈	
……………小林 洋一	928(5)
ヘミブロック, 脚ブロックからの心筋虚	
血部位診断 ……………宮崎 利久	930(5)
房室ブロックからの心筋虚血部位診断	
……………野崎 彰	934(5)
心室性不整脈 QRS 波形からの心筋虚血	
部位診断 ……………中屋 豊	936(5)
心室性不整脈と強心薬 ……………田辺 晃久	939(5)
心室性不整脈と電解質・利尿薬	
……………近藤 一彦・他	943(5)
肥大型心筋症・スポーツ心臓・突然死	
……………平木 達朗・他	949(5)
〈心電図からみた治療の選択〉	
心電図からみた治療の選択	
……………丹羽 裕子・他	952(5)
心電図所見からみた洞不全症候群の	
ペースメーカー適応 ……………石川 利之	957(5)
心房粗動 ……………臼田 和生	960(5)
心房細動 ……………下野真由美・他	964(5)
房室ブロック ……………磯部 文隆	966(5)
発作性上室頻拍の見方と治療薬の選択	
……………奥村 謙	970(5)
wide QRS 頻拍の見方と治療薬の選択	
……………矢野 捷介	974(5)
偽性心室頻拍の見方とその治療	
……………四倉 昭彦・他	979(5)
非持続性心室頻拍 ……………笠貫 宏	982(5)
特発性心室頻拍の見方とその治療	
……………相沢 義房	986(5)
torsades de pointes の見方と治療法	
……………森田 宏・他	990(5)
心室細動の心電図所見と治療法	
……………田寺 長・他	993(5)
今月の主題・理解のための 33 題 ……………	999(5)
解 答 ……………	1049(5)
内科臨床における心身医療	
〈イントロダクション〉	
心身医学(心身医療)の歴史の変遷	
……………末松 弘行	1058(6)
内科診療における心身医学的アプローチ	
……………筒井 末春・他	1062(6)

〈疾患・症候をどう診るか〉	
高血圧 ……………菊池 長徳	1067(6)
頭 痛 ……………坪井 康次・他	1070(6)
気管支喘息 ……………吾郷 晋浩	1074(6)
狭心症 ……………井上 征治・他	1077(6)
糖尿病 ……………玉井 一	1081(6)
慢性肺炎 ……………町田 英世・他	1085(6)
消化性潰瘍 ……………本郷 道夫・他	1089(6)
過敏性腸症候群 ……………佐々木大輔・他	1092(6)
過換気症候群 ……………武 千春・他	1095(6)
神経性食欲不振症-早期発見と早期対応	
……………胸元 孝夫・他	1098(6)
不眠症 ……………山岡 昌之	1101(6)
慢性疼痛 ……………山内 祐一・他	1104(6)
パニック・ディスオーダー …井出 雅弘	1107(6)
自律神経失調症(不定愁訴症候群)	
……………中野 弘一・他	1111(6)
更年期障害 ……………大川 玲子	1113(6)
軽症うつ病 ……………黒川 順夫	1116(6)
テクノストレス症候群 ……………河野 慶三	1119(6)
〈内科医にもできる心身医学的治療法〉	
一般心理療法 ……………伊藤 克人	1124(6)
薬物療法 ……………佐々木 直	1127(6)
自律訓練法 ……………佐々木雄二	1130(6)
漢方治療 ……………杵渕 彰	1133(6)
〈内科的治療をより効果的にする専門的治療法〉	
Biofeedback 法 ……………舌津 高秋・他	1136(6)
交流分析 ……………松野 俊夫・他	1138(6)
行動療法と認知行動療法 ……………坂野 雄二	1141(6)
精神分析的精神療法 ……………菊地 孝則	1144(6)
絶食療法 ……………山本 晴義	1147(6)
家族療法 ……………村山 隆志	1150(6)
コンサルテーション・リエゾンサービス	
……………大島 京子	1153(6)
〈内科臨床にかかわるトピックス〉	
内科疾患における神経-内分泌-免疫	
……………久保 千春・他	1158(6)
内科疾患とストレスの評価 …野村 忍	1161(6)
臨床応用可能な心理テスト	
……………竹内 香織・他	1164(6)
光フィードバック-不眠・軽症うつ病	
への適用 ……………熊野 宏昭・他	1167(6)
内科臨床における行動医学の実践	
……………篠田 知璋	1170(6)
内科研修における A-T split 方式	

.....久保木富房	1173(6)
心療内科臨床におけるチーム医療	
.....竹内 俊明・他	1176(6)
〈社会的広がりの中で考える〉	
過労と突然死	上畑鉄之丞 1180(6)
がん告知と末期医療	河野 友信 1185(6)
生命倫理(Bioethics)	赤林 朗 1188(6)
今月の主題・理解のための 39 題	1191(6)
解 答	1258(6)
高齢者医療の新しい視点	
〈Editorial〉	
老年医学の現状とその方向性 折茂 肇	1266(7)
老化に関する基礎的研究はどこまで	
進んでいるか	佐藤 昭夫 1269(7)
高齢者が抱える基本的問題をどう	
把握するか	井形 昭弘 1274(7)
〈高齢者診療上の問題点〉	
高齢者診療上の特徴	高田 淳・他 1277(7)
検査データをどう読むか 長野宏一朗・他	1280(7)
高齢者における薬物投与量の問題点	
.....秦 葭哉	1285(7)
包括的アセスメントとチーム医療	
.....遠藤 英俊・他	1290(7)
リハビリテーションの意義と重要性	
.....渋谷健一郎・他	1293(7)
〈高齢者に特徴的な症状への対応〉	
尿閉・尿失禁	後藤 百万・他 1296(7)
低血圧と高血圧	守口 篤・他 1300(7)
夜間せん妄とうつ状態	笠原 洋勇 1305(7)
皮疹と掻痒	岡本 昭二 1308(7)
便秘	関本 博 1310(7)
〈高齢者によく見られる疾患の診断・治療上の問題点〉	
心不全	小澤 利男 1313(7)
脳梗塞	鴨打 正浩・他 1316(7)
嚥下性肺炎	座安 清・他 1320(7)
消化性潰瘍と消化管出血 佐々木雅也・他	1323(7)
糖尿病	井口 昭久 1327(7)
骨粗鬆症	中村 千行 1330(7)
前立腺肥大症と前立腺癌 塚本 泰司・他	1334(7)
貧血	山田 英雄・他 1337(7)
褥瘡	福井 基成 1341(7)
担癌高齢者にどう対処するか	
.....米田 修一・他	1344(7)
〈高齢者の二次的合併症の予防〉	
廃用症候群と寝たきりの予防 安藤富士子	1348(7)

感染症対策	北原 光夫 1352(7)
転倒・転落と骨折の予防	浜村 明德 1354(7)
歯科ならびに口腔病変の予防—口腔は	
全身の縮図	鈴木 俊夫 1357(7)
〈痴呆の鑑別と医学的・社会的対応〉	
痴呆の鑑別診断	平井 俊策 1363(7)
痴呆老人の医学的問題点とその対応	
.....中村 重信	1366(7)
痴呆性老人の在宅ケア上の注意点	
.....石井 徹郎・他	1368(7)
〈高齢者医療と社会資源の活用〉	
在宅高齢患者の家族に対する指導の要点	
.....鈴木 荘一	1371(7)
デイケアとショートステイ	加知 輝彦 1377(7)
訪問看護	福永 秀敏 1381(7)
老人保健施設と老人病院	飯島 節 1384(7)
公的補助と老人介護支援機器 朝田 隆	1388(7)
ゴールドプランの今後の展開 関山 昌人	1391(7)
〈座談会〉	
21 世紀の長寿医療を考える—“活力ある、	
豊かで成熟した”長寿社会を目指して	
.....尾崎新平・井口昭久・稲垣俊明	
遠藤英俊・井形昭弘	1395(7)
今月の主題・理解のための 28 題	1405(7)
解 答	1439(7)
急性心筋梗塞 Q & A	
〈発生機序と病態をめぐって〉	
plaque rupture はなぜ生ずるか	
.....上田真喜子・他	1466(8)
なぜ不安定狭心症は急性心筋梗塞症に	
移行しやすいか	野々木 宏 1469(8)
冠攣縮で急性心筋梗塞は発症するか	
.....小川 久雄・他	1472(8)
血栓形成は急性心筋梗塞発症の先か後か	
.....堀江 俊伸	1476(8)
再灌流障害はなぜ起こるか	片桐 敬 1479(8)
myocardial stunning の機序はどう考え	
られているか	川口 博之・他 1482(8)
HMG-CoA 還元酵素阻害剤は心筋梗塞	
の発生を抑制するか	中谷 矩章 1485(8)
〈急性心筋梗塞診断の進歩〉	
新しい生化学的指標は何に役立つか	
.....阿部 純一	1488(8)
心筋梗塞巣の評価にはどの診断法が	
有用か	山崎 純一・他 1492(8)

急性期に予後をどれだけ推定できるか	落合 正彦・他 1496(8)
緊急冠動脈造影はどれだけ有用か	玉井 秀男 1501(8)
新しい血管内イメージング法は何に	役立つか 清水 智雄・他 1504(8)
〈再灌流療法〉	
救急救命士の役割は何か	上嶋権兵衛 1506(8)
Prehospital の血栓溶解薬投与は必要か	早崎 和也 1510(8)
新しい血栓溶解薬はウロキナーゼ, t-PA	
より優れているか	植松 俊彦・他 1517(8)
血栓溶解薬投与は静注がよいか冠注が	
よいか	中川 義久・他 1520(8)
血栓溶解療法と direct PTCA はどちらが	
有用か	有馬 新一・他 1524(8)
immediate PTCA, rescue PTCA は	
有効か	原 和弘 1526(8)
new device は急性心筋梗塞にも	
適用できるか	齋藤 滋 1528(8)
心原性ショックに対する有効な再灌流	
療法は何か	光藤 和明 1532(8)
高齢者に対する再灌流療法はどう	
選択すべきか	坂井 誠 1536(8)
発症 6 時間以後の late reperfusion は	
有効か	滝内 伸・他 1540(8)
欧米の大規模比較試験成績を日常診療へ適用	
する場合の問題点は何か	住吉 徹哉 1544(8)
〈急性心筋梗塞の合併症に対する治療〉	
不整脈に対する治療薬はどう選択するか	相沢 義房・他 1549(8)
Swan-Ganz カテーテルによるモニタリング	
が不要な症例はどれか	鈴木 紳 1552(8)
ポンプ失調を防止するには何が有効か	佐藤 光・他 1556(8)
右室梗塞の治療法としては何が有効か	茅野 真男・他 1558(8)
急性期の経皮的心肺補助(PCPS)は予後	
を改善するか	曾根 孝仁 1561(8)
心破裂は予防できるか	林田 憲明・他 1564(8)
緊急冠動脈バイパス術はどの症例に	
いつ必要か	鎭 寛之・他 1568(8)
CCU 症候群への対応をどうするか	黒澤 尚 1572(8)
〈急性心筋梗塞の回復期・慢性期の予後〉	

急性心筋梗塞回復期の再閉塞・再梗塞の	
予防には何が有効か	小川 久雄 1576(8)
左室 remodeling を抑制するには何が	
有効か	満尾 和寿・他 1579(8)
残存狭窄に対する PTCA の適応は何か	平山 治雄 1582(8)
梗塞領域の viability をどう評価するか	藤永 剛・他 1587(8)
心筋梗塞の二次予防には何が有効か	石川 欽司・他 1590(8)
運動療法は心筋梗塞の予後をどう	
改善するか	大村 延博・他 1593(8)
〈トピックス〉	
ヒルジンと抗 II b/III a モノクローナル	
抗体	渡部 玲子・他 1596(8)
Therapeutic angiogenesis	竹下 聡・他 1599(8)
今月の主題・理解のための 36 題	1603(8)
解 答	1645(8)
呼吸器疾患の画像診断	
〈Editorial〉呼吸器疾患画像診断の今日	小野 容明 1680(9)
〈胸部 X 線写真〉	
胸部 X 線写真読影の手順	松山 正也 1682(9)
均等陰影—区域性	廣瀬 正典 1688(9)
均等陰影—非区域性	永友 章・他 1693(9)
不均等陰影—区域性	赤川志のぶ 1698(9)
不均等陰影—非区域性	杉山幸比古 1702(9)
空洞・嚢胞性病変	本田 孝行・他 1707(9)
石灰化陰影	松迫 正樹 1712(9)
腫瘍陰影—孤立性(3 cm 未満)	柿沼龍太郎・他 1719(9)
腫瘍陰影—孤立性(3 cm 以上)	櫻木 徹・他 1723(9)
腫瘍陰影—多発性空洞性病変	松岡 緑郎 1731(9)
腫瘍陰影—多発性非空洞性病変	藤井 忠重・他 1736(9)
びまん性細葉陰影	金沢 実 1744(9)
びまん性間質性病変—粒状陰影	貞岡 俊一・他 1748(9)
びまん性間質性病変—網状影	田内 胤泰 1752(9)
透過性亢進—両側肺	小林 一郎 1756(9)
透過性亢進—一側肺	冬野玄太郎・他 1760(9)
胸水貯留—肺野病変あり	植木 純・他 1763(9)

胸水貯留—明らかな肺野病変なし	栗井 和夫・他 1769(9)
肺門縦隔リンパ節腫脹	瀧藤 伸英 1776(9)
縦隔陰影拡大	岩崎 正之・他 1780(9)
〈胸部 CT〉	
胸部 CT の正常所見	品川丈太郎・他 1785(9)
網状粒状病変	成井 浩司 1789(9)
腫瘤影	磯部 威・他 1794(9)
スリガラス状陰影	高際 淳・他 1798(9)
嚢胞状陰影	田村 厚久・他 1802(9)
病変の局在様式	吉田 和浩・他 1806(9)
〈胸部 MRI〉	
肺野情報	遠藤 正浩・他 1812(9)
縦隔情報—肺癌	滝口 恭男・他 1818(9)
縦隔情報—縦隔腫瘍	竹中 一正・他 1821(9)
今月の主題・理解のための 27 題	1829(9)
解答	1881(9)
見えてきた腎疾患	
〈Editorial〉腎疾患の診断と治療—変わらないこと、変わったこと、これから変わること	深川 雅史 1894(10)
〈基本的診断法 update〉	
尿検査	鈴木 康之・他 1896(10)
腎機能検査	土谷 健・他 1903(10)
腎生検	吉村吾志夫・他 1907(10)
〈腎疾患を持つ患者の外来一般診療〉	
無症候性蛋白尿・血尿患者をどうフォローするか	島田 美貴・他 1911(10)
腎機能低下を合併した外来患者をどう診るか—腎不全を悪化させないために	塚本 雄介 1916(10)
慢性透析患者の併発症をどう診るか—診療上の注意点	鍋島 邦浩・他 1921(10)
腎臓からみた高血圧のコントロール	伊東 康・他 1926(10)
画像検査で偶然異常を指摘された無症状患者のフォロー	津ヶ谷正行・他 1929(10)
〈進行性腎障害の病態解明と治療の進歩〉	
糸球体障害の分子生物学と臨床への可能性	南学 正臣・他 1933(10)
慢性糸球体腎炎治療の基本方針	奥田 誠也 1937(10)
ネフローゼ症候群の診かた	室 かおり・他 1942(10)
IgA 腎症 update	遠藤 正之・他 1946(10)

急速進行性糸球体腎炎	伊地知秀明・他 1950(10)
〈全身性疾患および他臓器疾患に伴う腎病変〉	
ループス腎炎 update	長澤 俊彦 1957(10)
糖尿病性腎症 update	河盛 隆造 1960(10)
肝疾患に伴う腎病変	木村 正人・他 1963(10)
肺と腎に病変を持つ疾患	山田 明 1966(10)
心不全と腎病変	長谷 弘記 1969(10)
悪性腫瘍および AIDS に伴う腎病変	島田 久基・他 1972(10)
〈急性腎不全診療の進歩〉	
急性腎不全診療の基本	藤乗 嗣泰・他 1976(10)
虚血性腎障害	木山 茂・他 1982(10)
薬剤性腎障害	石田 尚志・他 1985(10)
〈慢性腎不全診療の進歩〉	
慢性腎不全の進行機序と保存期のマネジメント	要 伸也 1989(10)
透析療法の現状	高光 義博・他 1994(10)
慢性腎不全の合併症とその治療—一般内科医に必要な知識	笠井 健司・他 1998(10)
腎不全に伴う骨病変	風間順一郎・他 2003(10)
内科医のための腎移植	寺岡 慧・他 2006(10)
慢性腎不全患者に対する薬剤選択と投与方法	田村 禎一・他 2010(10)
〈病態の解明されつつある腎関連疾患〉	
多発性嚢胞腎	堀江 重郎 2014(10)
Alport 症候群	吉川 徳茂 2017(10)
溶血性尿毒症症候群	五十嵐 隆 2020(10)
Bartter 症候群と Liddle 症候群	濱口 明彦・他 2023(10)
透析アミロイドーシス	宮田 敏夫 2027(10)
腎性尿崩症	佐々木 成 2030(10)
家族性低カルシウム尿性高カルシウム血症	中林 幹雄・他 2033(10)
腎に関連するクル病・骨軟化症	飛梅 斎・他 2038(10)
〈腎疾患診療の未来につながるトピックス〉	
腎臓の発生と分化の研究は何に役立つか	堀 雄一・他 2041(10)
トランスジェニックマウスを使うと腎疾患の何がわかるか	新村 文男 2046(10)
腎疾患の遺伝子治療の現状と未来の可能性	今井 圓裕・他 2053(10)
腎生理の分子レベルでの解明と臨床へのインパクト	吉富 宏治 2058(10)
今月の主題・理解のための 37 題	2066(10)

解 答	2116(10)
脳卒中	
〈Editorial〉新時代の脳卒中診療	
.....峰松 一夫	2126(11)
〈脳卒中臨床の基礎〉	
脳卒中の疫学—日本における実態と動向	
.....上田 一雄	2130(11)
脳卒中の病理	緒方 絢 2134(11)
脳卒中の分類	峰松 一夫 2136(11)
脳卒中の脳循環と代謝	福山 秀直 2140(11)
脳卒中における血小板機能, 凝固・	
線溶能	内山真一郎・他 2144(11)
〈脳卒中の一次予防〉	
リスク管理と脳卒中の予防	
.....宇高不可思・他	2150(11)
脳ドックと脳卒中予防	小林 祥泰 2153(11)
抗凝血薬・抗血小板薬療法と脳梗塞予防	
.....奥田 聡・他	2156(11)
〈臨床病型：発生機序と急性期病態〉	
アテローム血栓性脳梗塞	星野 晴彦 2160(11)
心原性脳塞栓症	岡田 靖 2163(11)
ラクナ梗塞	早川 功 2166(11)
脳出血—高血圧性, 非高血圧性	
.....平田 温	2169(11)
破裂脳動脈瘤	秋山 義典・他 2172(11)
その他の脳卒中—脳動静脈奇形, もやもや病,	
脳静脈洞血栓症など	川村 伸吾・他 2175(11)
〈脳卒中急性期の診断技術〉	
脳卒中急性期診断の進め方	山口 武典 2179(11)
脳梗塞の臨床症候—テント上	
.....脇田 英明・他	2182(11)
脳梗塞の臨床症候—テント下	
高木 誠	2185(11)
脳出血の臨床症候	北井 則夫 2188(11)
くも膜下出血の臨床症状	種子田 護 2190(11)
CT・MRI	小川 敏英・他 2193(11)
脳血管撮影・DSA・MRA	宝金 清博 2196(11)
神経超音波検査	木村 和美・他 2200(11)
SPECT・PET	長田 乾 2207(11)
心・大動脈疾患の検索	豊田 一則 2213(11)
〈脳卒中急性期の治療〉	
脳卒中急性期治療の基本方針 篠原 幸人	2217(11)
全身管理—初期治療・安静度・	
輸液管理など	寺谷 禎真・他 2220(11)
血圧管理	井林 雪郎 2223(11)
脳浮腫対策	片山 泰朗・他 2227(11)

脳梗塞急性期の治療	棚橋 紀夫 2230(11)
脳出血急性期の治療	黒田 清司・他 2234(11)
くも膜下出血急性期の治療	
.....永田 泉・他	2238(11)
〈脳卒中急性期の診断・治療の新展開〉	
脳梗塞の成因に関する話題 1—奇異性脳塞栓・	
大動脈由来の脳塞栓	伊藤 泰司・他 2241(11)
脳梗塞の成因に関する話題 2—抗リン脂質	
抗体と脳卒中	北川 泰久 2244(11)
急性期脳卒中の重症度診断と予後—	
Stroke scale	寺山 靖夫 2248(11)
脳卒中急性期の新しい診断技術—	
diffusion MRI を中心に	長谷川泰弘 2254(11)
脳卒中急性期治療薬の開発動向	
.....米田 行宏・他	2258(11)
脳外科手術の進歩—血管内手術など	
.....高橋 明	2261(11)
〈脳卒中の再発予防のトピックス〉	
血圧コントロールをどうするか	
.....入江 克実	2264(11)
抗血小板療法は有効か—脳梗塞臨床病型	
別の効果	西丸 雄也 2268(11)
低用量抗凝血薬療法は有効か—心原性	
脳塞栓症の再発予防	森安 秀樹 2270(11)
どんな場合に頸動脈内膜剝離術を行うか	
.....宇野 昌明・他	2273(11)
〈座談会〉	
脳卒中急性期の診断と治療をめぐる	
.....小川 彰・内山真一郎	
松本 昌泰・峰松 一夫	2276(11)
今月の主題・理解のための 40 題	2288(11)
解 答	2333(11)
慢性関節リウマチとリウマチ周辺疾患	
〈Editorial〉慢性関節リウマチの今日	
.....井上 哲文	2348(13)
〈病態理解の進歩〉	
慢性関節リウマチとサイトカイン	
.....宮坂 信之	2350(13)
慢性関節リウマチとT細胞	山本 一彦 2353(13)
慢性関節リウマチとアポトーシス	
.....住田 孝之・他	2356(13)
慢性関節リウマチと接着分子 當間 重人	2360(13)
慢性関節リウマチと骨髄細胞 広畑 俊成	2363(13)
慢性関節リウマチと炎症性のメディ	
エーター	本田善一郎 2366(13)

〈診断と状態評価〉

米国リウマチ学会分類基準を用いた診断

の進め方 ……宮田 昌之・他 2371(13)

早期リウマチの診断 ……松原 司 2376(13)

臨床検査異常とその評価 浅川 順一・他 2381(13)

画像診断(単純 X 線, MRI)

……………松井 宣夫・他 2386(13)

疾患活動性評価と QOL 評価

……………安倍 達・他 2396(13)

〈治療と生活指導〉

治療戦略の変化と今日的コンセンサス

……………東 威・他 2403(13)

非ステロイド抗炎症薬とその使い方

……………柏崎 禎夫・他 2409(13)

抗リウマチ薬および免疫抑制薬と

その使い方 ……内田 詔爾 2415(13)

ステロイド薬とその使い方 ……山田 昭夫 2421(13)

注意すべき薬剤相互作用 ……篠原 聡 2424(13)

関節穿刺・関節内注入の適応と効果

……………三田村忠行 2427(13)

病診連携と長期的治療計画 ……川合 真一 2430(13)

整形外科的治療の適応 ……小岩 政仁・他 2432(13)

日常生活指導とリハビリテーション

……………仲田 三平・他 2437(13)

社会的サポートシステムと認定の手続き

……………林 泰史 2442(13)

〈合併症と治療由来の随伴症への対応〉

慢性関節リウマチと血管炎 ……小林 茂人 2447(13)

慢性関節リウマチと肺病変

……………安藤 純子・他 2450(13)

慢性関節リウマチと消化管病変

……………星原 芳雄・他 2454(13)

慢性関節リウマチと肝障害

……………井出 宏嗣・他 2456(13)

慢性関節リウマチと腎障害 ……戸叶 嘉明 2460(13)

慢性関節リウマチと脊椎障害 浅井 富明 2462(13)

慢性関節リウマチとアミロイドーシス

……………土屋 尚之 2464(13)

慢性関節リウマチと Sjögren 症候群

……………鈴木 輝彦 2467(13)

慢性関節リウマチと貧血骨髄障害

……………三崎 義堅 2470(13)

慢性関節リウマチと中枢・末梢性神経病変

……………西岡 雄一 2473(13)

〈リウマチ周辺疾患の診断と治療〉

悪性関節リウマチ ……簗田 清次 2478(13)

成人発症 Still 病 ……谷本 潔昭 2481(13)

Felty 症候群 ……橋本 喬史 2484(13)

回帰性リウマチ ……根岸 雅夫・他 2486(13)

リウマチ性多発筋痛症(PMR) 市川 陽一 2489(13)

乾癬性関節炎 ……三森 経世 2492(13)

強直性脊椎炎 ……三井 弘 2495(13)

骨粗鬆症 ……三森 昭夫 2499(13)

無菌性骨壊死 ……高取 吉雄・他 2502(13)

変形性関節症 ……近藤 正一 2504(13)

痛風 ……中西 久・他 2507(13)

〈対談〉

内科診療における関節疾患のみかた

……………東 威・権田信之 2511(13)

今月の主題・理解のための 42 題 …… 2521(13)

解 答 …… 2565(13)

〔カラーグラフ 写真でみる外科手術の実際〕

1. 腹腔鏡下胆嚢摘出術 ……石川 泰郎・他 170(1)

2. 生体部分肝移植術 ……松波 英寿・他 570(3)

3. 糖尿病による macroangiopathy の手術

……………宮田 哲郎・他 786(4)

4. 不整脈の外科手術(maze 手術)

……………小坂井嘉夫 1010(5)

5. 大腿骨頸部骨折の外科治療 原田 敦 1412(7)

6. 急性心筋梗塞の外科手術 ……南淵 明宏 1612(8)

7. 胸腔鏡下肺生検 ……野守 裕明・他 1836(9)

8. 腎性骨異常栄養症に対する外科手術

……………富永 芳博・他 2076(10)

〔グラフ 検査・診断のための

Current Technology—原理と臨床的意義〕

1. 免疫染色 ……坂本 穆彦・他 173(1)

2. 画像解析と病理組織診断

……………手塚 文明・他 373(2)

3. フローサイトメトリー ……中原 一彦 579(3)

4. モノクローナル抗体/ウェスタン

プロット法 ……堀内 啓 789(4)

5. PCR 法・PCR-SSCP 法

……………小山 徹也・他 1013(5)

6. DNA シークエンシング ……土橋 洋 1219(6)

7. サザンプロット法/ノーザン

プロット法 ……堀内 啓・他 1421(7)

8. 遺伝子クローニング ……山本 一彦 1615(8)

9. *in situ* hybridization/FISH

……………河合 俊明・他 1847(9)

10. トランスジェニックマウス/ノック

- アウトマウス ……近藤 玄・他 2079(10)
11. 染色体分析法 ……藤原 睦憲・他 2313(11)
12. 遺伝子診断・治療 ……川村 信明・他 2535(13)

〔MRI 演習〕

13. 小児腹部腫瘍 ……荒木 力 179(1)
14. 月経時痛を訴えて来院した 38 歳の女性
……………荒木 力 357(2)
15. T2 強調像で基底核が低信号となる疾患
……………荒木 力 583(3)
16. 小児肝腫瘍 ……荒木 力 803(4)
17. 前縦隔腫瘍 ……荒木 力 1027(5)
18. 軀幹を貫く腕? ……荒木 力 1225(6)

〔演習・胸部 CT の読み方〕

1. 咳嗽にて受診した 63 歳の男性
……………村上 功・他 1425(7)
2. 検診で胸部異常陰影を指摘された 62 歳の男性
……………磯部 威・他 1619(8)
3. 咳嗽と労作時呼吸困難を主訴とする 32 歳の女性
……………土井 正男・他 1851(9)
4. 不明熱精査目的で紹介された 49 歳の男性
……………峯下 昌道・他 2085(10)
5. 労作時呼吸困難を主訴とする 72 歳の男性
……………徳永 豊・他 2299(11)
6. 息切れ・咳・痰を主訴とする 61 歳の男性
……………栗屋 幸一・他 2553(13)

〔図解・病態のメカニズムー

分子レベルからみた神経疾患〕

1. 分子医学から臨床神経学へ 辻 省次 1638(8)
2. 連鎖解析による疾患遺伝子座の決定
……………田中 一 1861(9)
3. 多因子遺伝からのアプローチアルツ
ハイマー病 ……辻 省次 2090(10)
4. 酸化ストレスによる神経変性? 家族
性筋萎縮性側索硬化症 ……中野 亮一 2559(13)

〔薬を正しく使うための Drug Information

ー副作用について〕

13. 抗ウイルス薬によるショック
……………大槻マミ太郎・他 199(1)
14. トリアゾラムによる一過性健忘
……………風祭 元 362(2)
15. 市販薬剤「金鶏丸」による肝障害
……………池上 文詔 590(3)

〔臨床医に必要な老人をみる眼〕

12. 廃用症候群の再認識ー“寝たきり予防”
のために ……大川 弥生・他 196(1)

13. 脳卒中の治療としての早期リハビリ
テーションの重要性 ……大川 弥生・他 364(2)
14. 排尿障害 ……宮川美栄子 592(3)
15. 褥瘡 ……森 由弘・他 810(4)
16. 老人の歯の病気 ……古沢 満・他 1232(6)

〔知っておきたい耳・鼻・のどの病気と病態〕

1. 中耳炎のみかた ……白幡 雄一 379(2)
2. 難聴患者のみかた ……白幡 雄一 596(3)
3. 鼻出血のみかた ……白幡 雄一 813(4)
4. 幼小児の滲出性中耳炎 ……白幡 雄一 1033(5)
5. 鼻汁と鼻・副鼻腔炎 ……白幡 雄一 1213(6)
6. 急性咽頭炎と急性扁桃炎 ……白幡 雄一 1431(7)
7. 音声障害(嗄声)のみかた ……白幡 雄一 1625(8)

〔知っておきたい産科婦人科の疾患と知識〕

1. 急性腹症と卵巣腫瘍 ……奈須 家栄・他 1870(9)
2. 腹部膨満、腹水と卵巣過剰刺激症候群
……………河野 康志・他 2094(10)
3. 貧血と子宮筋腫 ……松 敬文・他 2321(11)
4. 月経痛と子宮内膜症 ……早田 隆・他 2547(13)

〔これからの医療と医療制度〕

13. 医療評価 ……寺崎 仁 202(1)
14. 病院機能評価 ……寺崎 仁 408(2)
15. 新看護体系 ……寺崎 仁 594(3)
16. 介護保険のゆくえ ……寺崎 仁 818(4)
17. ケア・コーディネーター ……寺崎 仁 1046(5)
18. 在宅医療 ……寺崎 仁 1234(6)
19. ソロ・プラクティスとグループ・
プラクティス ……寺崎 仁 1440(7)
20. 医療施設間の連携 ……寺崎 仁 1646(8)
21. 専門医・認定医制度 ……寺崎 仁 1878(9)
22. ターミナル・ケア ……寺崎 仁 2098(10)
23. 脳死と臓器移植 ……寺崎 仁 2326(11)
24. 医師過剰時代 ……寺崎 仁 2568(13)

〔目でみるトレーニング〕

- 問題 41 ……田野 吉彦 189(1)
- 42 ……下山田和裕 190(1)
- 43 ……岩本 芳枝 191(1)
- 44 ……富永 一則 367(2)
- 45 ……野坂 俊介 368(2)
- 46 ……田野 吉彦 369(2)
- 47 ……半田 敦史 573(3)
- 48 ……元 鍾聲 574(3)
- 49 ……田野 吉彦 575(3)
- 50 ……松井 保憲 793(4)
- 51 ……川井 信孝 794(4)

52		田野 吉彦	795(4)
53		久保西一郎	1017(5)
54		岩谷 美紀	1018(5)
55		田野 吉彦	1019(5)
56		猪野 裕英	1206(6)
57		相本 康晴	1207(6)
58		藤岡 知昭	1208(6)
59		松崎 靖司	1415(7)
60		楠本 修也	1416(7)
61		荒川 浩明	1417(7)
62		久保西一郎	1631(8)
63		松崎 靖司	1632(8)
64		藤岡 知昭	1634(8)
65		山田 恵子	1839(9)
66		池上 正	1840(9)
67		吉田 勝彦	1841(9)
68		高田 淳	2306(11)
69		千葉 俊也	2307(11)
70		久保西一郎	2308(11)
71		久保西一郎	2540(13)
72		水戸 泰紀	2541(13)
73		藤岡 知昭	2542(13)

[medicina Conference]

(第11回) 発熱と呼吸困難を主訴に救急外来を受診した69歳の男性

大成 功一・今井 信行・酒井 泰彦
梅沢 剛・山口 明満・石村 孝夫 388(2)

(第12回) 気管支喘息と高血圧の既往があり、前胸部痛を主訴に緊急入院した29歳の女性

佐藤 正・八田 和大・西村 善博
後藤 葉一・松尾 汎・石村 孝夫 828(4)

(第13回) 全身倦怠感と点状出血を主訴に入院し、急激に死の転帰をとった50歳の女性

正木 芳孝・柳沢 克之・大本 晃裕
矢崎 一雄・小野寺康博・小林 久倫
堀川 博通・平間 元博・北原 光夫 1242(6)

(第14回) 下痢と急激な体重減少をきたした72歳の男性諏訪 昭・満尾 和寿

五味由加利・石井 周一・松本 俊夫 1654(8)

(第15回) 腹痛、全身倦怠感、食欲不振、高度の体重減少をきたしたHBVキャリアの56歳の男性

成田 亨・原岡ひとみ・佐々木英樹
松原 康朗・桜井 幸弘・上野 文昭 2100(10)

[アメリカ・ブラウン大学医学部在学日記]

5. 担当医として患者のケアから退院まで

を受け持つ内科実習		赤津 晴子	204(1)
6. 産科実習は人形を使ったお産の練習から		赤津 晴子	385(2)
7. 6週間と短い、楽しい小児科実習		赤津 晴子	601(3)
8. 外科実習は早朝から1日立ちっぱなし		赤津 晴子	820(4)
9. 緊張の連続となる救急外科実習		赤津 晴子	1039(5)
10. 全人的ケアを学ぶコミュニティ・ヘルス実習		赤津 晴子	1238(6)
11. 選択科目の研究でパキスタンに発つ		赤津 晴子	1442(7)
12. エイズ外来実習で患者と向き合う		赤津 晴子	1648(8)
13. アルコール中毒患者のリハビリテーションに参加		赤津 晴子	1882(9)
14. 「患者の権利」を考える		赤津 晴子	2330(11)
15. 全米を飛びまわることになるレジデンス応募		赤津 晴子	2571(13)
[医道そぞろ歩きー医学史の視点から]			
1. 人を愛するところに医学もある		二宮 陸雄	824(4)
2. たといわが命死ぬとも道ひらん		二宮 陸雄	1042(5)
3. 大海に小舟で乗り出すごとく		二宮 陸雄	1236(6)
4. 苦しんでいる人間性への配慮		二宮 陸雄	1446(7)
5. ガイ病院のブライトと腎炎		二宮 陸雄	1652(8)
6. ガイ病院のアジソンと副腎		二宮 陸雄	1876(9)
7. 肺結核と戦ったラエネックの聴診法		二宮 陸雄	2324(11)
8. テムズ川が海に注ぎこむごとく		二宮 陸雄	2566(13)

[Scope]

対談：肝疾患研究における細胞死と細胞増殖		坪内 博仁・林 紀夫	209(1)
てい談/陽子線照射療法による癌治療への新しい挑戦		大菅 俊明・松崎 靖司・門奈 丈之	609(3)
地下鉄サリン事件に対する聖路加国際病院の対応ーサリン中毒の診療と医療情報伝達		大生 定義・他	1449(7)
PTCA 施行後10年間の長期予後		延吉 正清	2335(11)